

山梨県立吉田高等学校

1. 教育方針

《校訓》 「純剛」 「百折不撓」

本校は、「純剛」（明るく爽やかで、意志強く、飾らないこと）と「百折不撓」（何度困難にあっても決してくじけないこと）の校訓のもと、文武両道の実践をとおして、未来に向かって力強く前進する、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成を目指しています。

《学校の特徴》

1 授業・学校行事

- 前期・後期の2学期制と45分7校時授業で、授業時間を確保するとともに、熱心な学習指導により、生徒一人ひとりの能力を最大限に伸ばします。
- 文部科学省指定「学力向上実践研究推進校」として、総合的な学習の時間「富士山学」の中で教科横断的な学習を行い、探究的・主体的な態度と活用力を養い、郷土を愛する心も育てます。
- 土曜日にオープン・スタディ（学力向上講座と自学自習講座）を実施します。
- 今年で43回目となる富士登山強歩大会をはじめ、吉高独自の伝統的行事が多くあります。
- 校外でのボランティア活動を単位認定する、ボランティアパスポート制度を設けています。

2 生徒会活動・部活動

- 生徒会本部や各委員会が中心となり、蒼風祭や体育祭など、多くの生徒会行事を活発にこなしています。
- 放課後3時間（平日）の部活動を確保するなど、文武両道を実現できる環境を提供しています。実際に、80%以上の生徒が部活動（体育局24部、文化局17部）に熱心に参加しています。
- 山梨県高等学校強化指定運動部に指定されている部が多くあり、毎年、関東・全国大会に出場しています。

3 学校生活

- 担当学年の教員が中心になって、生活全般にわたってきめ細かい指導をおこなっています。
- 2名の養護教諭と定期的に来校するスクール・カウンセラーが、悩みや心配事の相談に応じています。
- 県下の公立高校の中でも新しい校舎と同窓会館があり、最新設備の整った環境の中で、充実した学校生活を送れます。
- 学習や部活動で頑張る生徒は、各種団体からの奨学金を受けることができます。さらに、本校独自の渡辺貢奨学会も発足し、各学年5名の生徒に、年間12万円（毎月1万円）の奨学金が無償で交付されます。

2. 志願してほしい生徒像

本校の校訓や特色をよく理解し、自らの希望や夢の実現に向けて挑戦する強い意志と、規則を守り周囲と協調できる社会性、豊かな人間性を備えた者。

3. 前期募集選抜方法

（1）募集定員に対する募集率

普通科	25%以内
理数科	20%以内

(2) 出願の条件

普通科 志願してほしい生徒像に合致し、出席状況が良好で、学習意欲と知的探究心に溢れる者のうち、次の条件A、条件Bのいずれかに該当する者。

条件A 学習成績が優秀で、学校行事・生徒会活動・ボランティア活動などに積極的に参加した者。

条件B 学習成績が優良で、体育活動あるいは文化活動において、県レベル以上の大会で優秀な成績を収めた者。なお、団体の場合は、中心となって活躍した者とする。

理数科 志願してほしい生徒像に合致し、出席状況が良好で、学習意欲と知的探究心に溢れる者のうち、学習成績が極めて優秀で、理数教科にも関心を持ち、学校行事・生徒会活動・ボランティア活動などに積極的に参加した者。

(3) 面接

普通科

実施のねらい	実施形態等	検査時間
人物、意欲、基礎学力などをみて、本校普通科の「出願の条件」に合致している生徒かどうかを確認する。	個別面接	10分程度

理数科

実施のねらい	実施形態等	検査時間
人物、意欲、基礎学力などをみて、本校理数科の「出願の条件」に合致している生徒かどうかを確認する。	個別面接	20分程度

(4) 本校で定める検査

検査方法	実施内容
作文	普通科 時間：50分 字数：600字以内 理数科 時間：60分 字数：600字以内
特技	普通科 実績を証明できる資料による書類審査

(5) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	作文	特技	備考
普通科 条件A	50	20	30	—	前期募集人員の60%程度
普通科 条件B	40	15	15	30	前期募集人員の40%程度
理数科	40	40	20	—	

※調査書の「学習の記録」については、第1学年から第3学年までの成績評定を対象とする。

(6) その他

普通科の条件Bで志願する生徒は、実績を証明できる資料〔賞状・新聞記事・スコアブックなど〕のコピー（A4サイズ）を出願時に提出する。

4. その他

平成24年度山梨県高等学校運動部強化指定

スケート（男女） ウエイトリフティング（男） 弓道（男） バスケットボール（女）
ヨット（女）